

私本体の居場所を突き止めたのは
褒めてあげるけど
少しイタズラの度が過ぎたね

フゥ

マダム・ヘルタは忙しいから
あなたがみっともない顔で
泣いて謝るまで
私達がおしおきしてあげるね

モジ

モジ

呆れた…

天才も案外俗っぽいんだね

こんなことで私を
どうにかできると思ってるの？

時間の問題だよ

あなたみたいな小娘じゃ
経験したことのない
快感を教えてあげる♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

は

ん



あれ？
小娘のくせに
思ったより耐えるね

それじゃあ
こんなのはどう？

くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ







はい♡
まず一回だね

あなたの弱いところも
わかったことだし...

次はあれ
入れてみようか♡

...ささ

んん...

ぐわん

はっ

んん

ぐわん

はっ

んん

んん

これだけ濡れるなら
ローションは必要なさそうだね

はあ、

はあ、

ちょっと待って……

そんなの
は、入るわけないでしょ……

やってみればわかるよ♡

ア、♡

はっ



イ
ギッ

ん
ん

グ
グ
グ

ほら入った♡

う
う

もっと力抜いたほうが
いいんじゃない？

ん
ん

これ
もう一つあったよね？

まっへ

とめえ

ジュ
ホ♡
♡

ジュ
ホ♡
♡

ジュ
ホ♡
♡

せっかくだし
お尻にも挿してみよっか

あ



あやまるっ
ごめんなさいっ

あやまるっ

あやまるっ

ぽぽ

ぽぽ

やめ

こわれるっ

許して

ぽ

ぽ



もう
気絶しちゃった♡

グ
グ
グ

グ
グ
グ

は..
は..
は..

まあ
いいや

二度と生意気なことしないように
もう少し遊んであげよう♡